

「水都大阪ビジョンの振り返り等に関する調査分析業務」仕様書

1 業務名称

水都大阪ビジョンの振り返り等に関する調査分析業務

2 業務の趣旨・目的

水都大阪コンソーシアム（構成団体＝大阪府、大阪市、大阪商工会議所、関西経済連合会、関西経済同友会、大阪観光局、大阪シティクルーズ推進協議会。以下「コンソーシアム」という。※1）は、2017年に設立し「水と光のまちづくり推進会議」により示された「水と光のまちづくり推進に関する基本方針」に基づき、「水と光の首都大阪」の実現に向けた事業を実施し、大阪の都市魅力の向上に寄与する取組みを進めています。

これまでの水都大阪の取組みをさらに進めていくため、コンソーシアムが2020年に「水都大阪ビジョン」（以下、「ビジョン」という。）をとりまとめています。

ビジョンは概ね2025年までを目途としていることから、これまでのコンソーシアムの取組みを振り返り、万博開催後となる2026年以降の水都大阪の事業の方向性を見出す必要があります。

ついては、これまでの水都大阪における事業の実績の確認やヒアリング等による調査を行い、2026年以降の事業のあり方や方向性の検討に取り組む調査分析を実施するための事業者を募集します。

※1 コンソーシアムに関する詳細は、以下のホームページを参照してください。

<https://www.suito-osaka.jp/index.php>

https://www.suito-osaka.jp/about_suito/company.html

3 業務委託期間

令和6年度（契約日以降）から、令和7年2月28日（金）までの期間

4 委託上限金額

金2,500,000円（消費税及び地方消費税額を含む）未満とします

5 業務内容

①コンソーシアム事業を中心とした水都大阪の取組みのとりまとめ

ア) コンソーシアム2017年度以降の毎年度の事業報告をとりまとめる。

⇒2017年から2024年度までのコンソーシアムの事業報告や収支決算書等の分かる資料に基づきとりまとめる。あわせて、イベント来場者数、舟運利用者数、ホームページの閲覧数等の定量的な実績の推移をとりまとめる。

イ) イベント来場者等のアンケート結果や調査研究結果をもとに定性的な実績をとりまとめる。

⇒コンソーシアム事業で実施したアンケート結果や調査結果に基づきとりまとめる。

ウ) ア)並びにイ)の結果をもとに資料を作成し、事業者・団体、有識者、関係機関等と水都大阪の取組に関するグループディスカッションや同関係者へのヒアリング等を実施し意見聴取を行う。

⇒グループディスカッションやヒアリング、それらの議事録等作成等

エ) ア)からウ)の結果をもとに、ビジョンの達成状況を示し課題分析を行う。

②今後の水都大阪の方向性の検討

ア) 水都大阪ビジョンにおける第4フェーズ(2026年以降)で取り組むべき事業の方向性や準備スケジュール検討を行う。

※但し、今後の大阪府市都市魅力創造戦略の改定の進捗も視野に入れ検討すること。

※①及び②の業務の実施については、発注者と随時、協議しながら進めること。

6 成果品

(1) 「5 業務内容 ①コンソーシアム事業を中心とした水都大阪の取組みのとりまとめ」については、令和6年10月31日(木)までに提出すること。

(2) 「5 業務内容 ②今後の水都大阪の方向性の検討」については、素案を令和6年11月29日(金)までに提出すること。また、素案提出後内容の確認や協議等を行い、最終的な提出期限を令和7年2月28日(金)までとする。

また、上記成果品の提出にあたっては、事前にコンソーシアムに確認のうえ、必要な事項を整理し、監督職員の確認を得ること。

(3) その他

成果品としてパイプ式ファイル(2部)及び電子ファイル(CD-R)を1部納めること。

また、納品すべき成果品が完成した時点で、必ずウイルスチェックを実施し、コンピューターウイルスが存在していないことを確認しなければならない。なお、ウイルス対策ソフトは特に指定はしないが、信頼性の高いものを利用するものとする。電子媒体には、「業務名称」、「作成年月」、「発注者名」、「受注者名」、「何枚目/全体枚数」、「ウイルスチェックに関する情報」を明記しなければならない。なお、電子媒体を収納するケースの背表紙には、「業務名称」、「作成年月」を明記する。「ウイルスチェックに関する情報」は、使用した「ウイルス対策ソフト名」、「ウイルス定義年月日」、「パターンファイル名」及び「チェック年月日」を明記するものとする。